

さがぼー通信

第2号

発行日
平成26年7月

さがみはら
地球温暖化対策協議会

〒252-0236

相模原市中央区富士見 1-3-41

相模原市立環境情報センター内

電話 / ファクス 042-753-9550

Eメール info@s-ontaikyou.jp

●http://www.s-ontaikyou.jp/

さがみはら地球温暖化対策協議会は、個人・事業者・団体・市が連携・協力しながら、日常生活に起因する温室効果ガスの排出削減などのために必要な対策の協議や活動を実施し、地域の地球温暖化対策を推進していきます。

かんきょうフェア 2014

4月5日・6日開催

主催 さがみはら地球温暖化対策協議会
相模原の環境をよくする会
市民桜まつりと同日に環境情報センターで
開催しました。間伐材の工作や自転車発電・
手回し発電、地球温暖化防止のために自分
は何をするか書いてもらうコーナーなどで、
多くの皆様に地球温暖化について考えて
いただきました。



さがみはら地球温暖化対策
協議会キャラクターの
さがぼーくんは
子どもたちに大人気!
みんなで一緒に
温暖化対策をしようね!!

「さがぼーくん」 デビュー

地球温暖化防止! あなたは何をする?

ふだん取り組んでいること、これから取り組むことを
葉っぱに見立てた紙に書いてラシャ紙の木に貼ってもらいました。
多くの家族連れが仲良く相談しながら取り組んでくれたおかげで、
見事に葉っぱが茂った大木に育ちました。
男の子が「ゲームをする時間を守る」と書くと
「それならテレビを見ない方が節電になるでしょ」とお母さんに
言われている微笑ましい光景もありました。
市民の皆様で大切な地球を守ることを考える
よい機会となりました。

間伐材でオリジナルペンダント作り



地球温暖化の抑制を担う森を知り、
親しみ、大切に作る意識を持ってもら
おうと、木もれびの森の間伐材を利用
した“オリジナルペンダント”の作成と、
小冊子「木もれびの森ガイド」の配布を
行いました。

多くの子どもたちが初体験のノコ
ギリに挑戦し、間伐材を一生懸命切り
ました。ペンダントの絵もオリジナリ
ティーがあふれていて、
感心させられました。

大学生3人組のさがぼーくん



自転車発電・手回し発電にチャレンジ!



二酸化炭素を出さずに自力で電気を作っ
てみよう、子どもが気合を入れて自転車こ
ぎスタート!何とか発電して接続している
LEDが点灯しても、白熱球はなかなか光りま
せん。

バトンタッチしたお父さんの自転車
こぎパワーでようやく白熱球も点灯!
LEDと白熱球の消費電力の違いが
はっきり体感できたようです。

みんな
がんばって
発電したね



さがみはら地球温暖化防止フォーラム 「一人ひとりの 温暖化対策を考える」

主催：さがみはら地球温暖化対策協議会・相模原市

平成25年12月14日(土)に環境ジャーナリスト枝廣淳子氏による基調講演「わたしたち一人ひとりにできること～地球と幸せを考える～」とパネルディスカッションが行われました。枝廣氏は3点の大事なことをIPCC報告・シミュレーション動画や様々な事例で話されました。

温暖化が大変深刻な状況にあることがわかり、一人ひとりが今すぐ温暖化防止に取り組まなくてはとの思いを新たにしたフォーラムでした。

これからも当協議会は市民の皆様へ温暖化防止の取組みの大切さと、具体的な方法、ライフスタイルの見直しを提案する活動をいろいろな人と共に行っていきます。

大事なこと3つ

- 其の1 多くの人が思っている以上にCO₂を大幅に減らさなくてはならない。平均気温上昇を2℃以内にするには、CO₂排出を今世紀前半に半減、後半はゼロかマイナスにする必要がある。
- 其の2 進行してしまう温暖化に対する「備え」をすること。大雨や台風等の自然災害への備え、熱中症などの人体被害への備え、農業生産への影響を減らすための備えが必要。
- 其の3 本当に大切なものは？ 幸せと経済成長の関係は？ 社会の価値観の問い直し。めざすべき姿は、地球1個分の暮らし、定常型経済。



さがみはら地球温暖化対策協議会 12月までの予定

- 7月30日 市外の省エネ・創エネ施設見学会(東京ガス株、東京電力株の施設)
- 8月 9日 田名ふるさとまつり
- 8月10日 環境川柳コンテスト表彰式(相模原青年会議所と共催)
- 10月 5日 東林ふるさとまつり
- 10月19日 城山もみじまつり
- 11月 9日 さがみはら市民活動フェスタ
- 12月 6日 地球温暖化防止フォーラム(相模原市と共催)

10月頃に市民向けの市内の省エネ・創エネ施設見学会や会員向けの研修・視察研修も実施する予定です。

地域の拠点「自治会館」に 太陽光発電を！

～翠ヶ丘自治会の取り組み～



さがみはら地球温暖化対策協議会の調査・研究部会では、自治会館への太陽光発電の普及について調査しています。昨年度始まった市の補助を活用して太陽光発電と蓄電池を設置した翠ヶ丘自治会館を5月24日(土)に見学させていただきました。小田急相模原駅から徒歩10分ほどの住宅街にある自治会館を昨年12月に建て替えた際に、太陽光発電(定格4.3kW)と蓄電池(容量5.5kWh)を設置しました。

金子自治会長、副会長さんたちに話を伺いました。建物は震度7の地震にも対応でき、災害時

の避難場所として電気(太陽光発電・蓄電池)、ガス(プロパンガス)、水(飲料水)の備えができるように考えたとのこと。安心、安全、会員の絆を大切に自治会館にしたいという役員の方々の意気込みが伝わってきました。また、ほぼすべての照明をLEDにしたことで消費電力が抑えられ、昼間の会館の使用が多いにもかかわらず、太陽光発電による売電収入もあるそうです。

当協議会では翠ヶ丘自治会の取り組みを先進事例として、資金繰りなどの課題を研究し、市内の自治会館への設置を促進するお手伝いできたらと考えています。

相模原市の補助制度

最大出力4kW以上の太陽光発電システムと蓄電システムを自治会館に設置した場合、補助率1/2以内、上限額400万円を補助する制度があります。

《担当課》相模原市役所市民協働推進課
TEL.042-769-9225



クールシェア さがみはら2014

電力需要が高まる夏の日中を中心に、家庭でのエアコンの使用を抑え、市内の公共施設や店舗等の民間施設で暑さをしのいでいただく「市制施行60周年記念クールシェアさがみはら2014」を、昨年度に引き続き相模原市と温暖化対策協議会で実施します。

今年度は、津久井産間伐材を活用した「うちわ立て」を実施施設に配布いたします。節電・省エネ等の普及啓発に加え、森林保全の一助となることも期待しています。



「ホクのうちわもあるよ！」

さがみはら環境まつり

6月29日(日)、ポーノ相模大野のユニコムプラザさがみはら(相模原市立市民・大学交流センター)にて「つながるつながれひと・まち・みどり」をテーマに第10回さがみはら環境まつりが開催されました。

前日までの雨模様から梅雨の合間の好天に恵まれ、親子づれを中心に多くの方々が来場され、一日中活気あるお祭りとなりました。環境に取り組む団体や行政等が出展し、市民・事業者が取り組んでいる環境保全活動や環境への啓蒙活動などをブース展示や様々な企画によって情報発信しました。

私たち地球温暖化対策協議会もブース出展し、

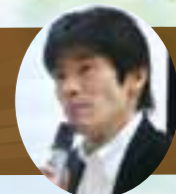
手回し発電を子どもたちに体験してもらいました。白熱灯を点灯させる手回しの重さとLEDを点灯させる空回りしているような軽さで消費電力の違いを体感し、省エネの大切さとちょっとした取組みで使用電力を減少させることが地球温暖化防止につながることを理解してもらいました。

温対協のキャラクター「さがぼーくん」とこどもエコクラブの「エコまるくん」が共に会場入り口で来場を呼び掛け、子どもたちの注目の的となり、環境まつりを大きく盛り上げてくれました。



地域で進める 地球温暖化対策

神奈川大学人間科学部 教授 松本 安生



地球温暖化対策では、原因である二酸化炭素などの温室効果ガスの排出を削減することが不可欠ですが、このためには国際社会や国の取り組みだけでなく、地域における対策が重要な役割を担っています。

例えば、「あきた菜の花ネットワーク」の活動は、耕作放棄地で栽培した菜の花を原料にバイオ燃料の製造やなたね油の商品化を行い、農地のトラクターや学校給食などで利用するほか、菜の花まつりなど菜の花畑を地元の観光資源としても活用するという多面的なネットワーク型の取り組みです。その成功要因は、温暖化防止だけでなく観光なども含めた農業・農村の活性化を同時に目指している点にあります。

また、京都市の「DO YOU KYOTO? クレジット制度」は、町内会や商店街で省エネや機器の更新などに取り組み、その結果、削減された二酸化炭素削減量がクレジットと

して認証され、奨励金が交付されるというものです。

市はこのクレジットを市内の大規模事業者などに販売し、企業の環境配慮活動として、あるいは地域の取り組みを支援するCSR活動として利用してもらっています。このように、幅広い市民や事業者の参加や協力を得るためには、金銭的なインセンティブを上手く利用することは有効です。

さらに、横浜市「ヨコハマ・エコ・スクール(YES)」のように、自治体が行う事業だけでなく、市民団体や企業・大学などが行う環境関連の講座やイベントなどをブランド化し、幅広く市民に情報提供を行うことは、結果的に市民の利便性を高め、キャンペーンの効果を高めることにもつながります。横浜市のYESは市内の幅広い地域において学びの場を提供し、毎年数千人の市民が参加する普及啓発プロジェクトとなっています。

さがみはら
地球温暖化対策協議会
会員紹介

個人 23名
事業者 33社
団体 34団体
合計 90 (7月10日現在)
会員紹介は掲載
希望の会員から
順次掲載します。



新規会員

- 【個人】荒谷輝正 五十嵐千代 稲吉英実
岩下正人 寺崎雄介
- 【事業者】アイフォーコム(株) (株)ノジマ
(株)ウェブコンサルチーム (株)みらい
「かながわ森の町内会」事務局
- 【団体】特定非営利活動法人アース・エコ
かながわ環境カウンセラー協議会
公益社団法人相模原青年会議所
公益財団法人相模原市まち・みどり公社



NPO法人相模原こもれび

広さ73haの平地林である木もれびの森は人々が癒され、学び、憩うことができる緑とふれあう拠点であり、又、温暖化抑制のためにも自然のままの豊かな森として未来に残していくことが求められています。そのため年間を通して保全活動や自然保護意識の普及啓発を幅広く行っています。

URL <http://www.npo-komorebi.com/>



**太陽光発電所ネットワーク
PVさがみはら**

太陽光発電が大好きな仲間と再生可能エネルギーの普及啓発をしています。平成22年度から3年間の相模原市との協働事業で、大野台こどもセンターに市民おひさま発電所を設置しました。毎年大野台おひさまフェスタを開催し、子どもたちに太陽エネルギーの素晴らしさを伝えています。

URL <http://www.pvsagamihara.net/>



「かながわ森の町内会」事務局

企業・団体が「かながわ森の町内会 間伐に寄与する紙」(印刷用紙・コピー用紙)を使うことで神奈川の森(相模原、愛川、山北)の間伐を促進し、間伐した健全な森は、CO₂吸収による温暖化防止などの大切な機能を取り戻します。15円/kgの間伐支援費が間伐材の有効活用に役立ちます。「森の町内会」ホームページ等にサポーター企業・団体名を掲載してアピールできます。

URL <http://www.mori-cho.org>



株式会社ホンマ電機

電気工事の会社ですが、新築の電気工事というより、既設建物の電気空調設備の改修工事が大半です。そのため、機器の入れ替えにより多くの撤去資材が発生します。この撤去材の適正処理が、わが社に課せられた使命と考え、3年前『エコアクション21』を認証取得し事業展開を行っております。

URL <http://honma-denki.jp/>



遮熱フィルムがCO₂削減に貢献!
相模原市唯一の専門施工
提案から工事まで

■窓ガラスフィルム貼付工事
省エネ・暑さ対策・日射調整・飛散防止・UVカット・防虫・防犯・電磁波防止対策・目隠し・装飾などの各種ガラスフィルム貼付工事

■ダイノックフィルム貼付工事

■水廻り改修シート工事

URL <http://www.sunmaruko.co.jp/>

さがみはら地球温暖化対策協議会からのご案内
～ホームページをご覧ください!～

活動内容や会員の紹介、講座やイベントのご案内等を掲載しています。フェイスブックページもあります。URL <http://www.s-ontaiyou.jp/>

会員募集中です!

さがみはら地球温暖化対策協議会に入会して、温暖化対策と一緒に取り組みませんか。協議会の目的に賛同する個人・事業者・団体で協議会事業に積極的に参加いただける方ならどなたでも入会できます。市外の方も入会可能です。

会費…1口 1,000円・個人会員/1口以上
・事業者・団体会員/2口以上

入会を希望する方は、お気軽に右記協議会事務局にお問い合わせください。



さがみはら地球温暖化対策協議会

〒252-0236
相模原市中央区富士見1-3-41相模原市立環境情報センター内
TEL・FAX.042-753-9550
Eメール: info@s-ontaiyou.jp
HPアドレス: <http://www.s-ontaiyou.jp/>



この会報は環境に配慮した紙・インクを使用しています。